

## 草の根無償「エル・ディビサデロ市ヌエボ地区飲料水供給計画」案件終了式

2021年10月22日、「エル・ディビサデロ市ヌエボ地区飲料水供給計画」の案件終了式を実施しました。同終了式には、エル・ディビサデロ市長、バリオ・ヌエボ落開発協会代表、エルサルバドルのためのエネルギー市町村協会代表及び当館館員等が出席し、記念碑除幕や記念植樹等を行いました。

同地区は、首都より東へ約 172 kmに位置し、そこに住む住民は農業(トウモロコシ、豆等)で生計を立てています。同地区の住民は 20 年以上もの間、生活用水及び飲料水を確保するために雨水を溜める他、週 2 回の給水車による水の配給に頼っていました。そのため、本案件が完了するまでは十分な生活用水が確保されていない状況でした。

本案件は草の根・人間の安全保障無償資金協力によるもので、上水道整備のため、貯水タンクの建設、給水ポンプ及び給配水管の設置等を行いました。プロジェクト総額は 129,785.36 米ドルで、その内、日本政府が 74,735.00 米ドル、エル・ディビサデロ市役所が 55,050.36 米ドルを拠出しました。

本案件実施により、同地域の 131 世帯 629 名の住民が恒常的に安全な水を利用できるようになり、生活環境及び公衆衛生が向上しました。



案件終了式テープカット



記念植樹



記念碑除幕



給水栓試行

〈受益者の声〉



又エボ地区の飲料水供給のプロジェクトが完了したことをとても嬉しく思っており、大変感謝しています。日本大使館の皆さん、エル・ディビサデロ市役所の皆さん、エルサルバドルのためのエネルギー市町村協会の皆さんの愛情のこもった協力のおかげで、このコミュニティの夢(各家庭の蛇口から水が出ること)が現実になりました。

裨益者：マルガリータ・メヒアさん

このプロジェクトを提供してくださったことに大変感謝しています。これまでは飲料水や生活水の不足で大変困窮していましたが、プロジェクトが完了し、生活が一変しました。今では住居まで水が供給されとても嬉しく思っています。日本大使館の皆さん、エル・ディビサデロ市役所の皆さん、エルサルバドルのためのエネルギー市町村協会の皆さんに、コミュニティを代表して感謝の意をお伝えします。

裨益者: グラディスメヒアさん

